



SAFETY

Lexus Safety System +

人・クルマ・交通環境の「三位一体の取り組み」とともに、実際の事故から学び、改善を繰り返す「実安全の追求」の推進から生まれた予防安全システムが「Lexus Safety System +」です。2種類のセンサー（ミリ波レーダーと単眼カメラ）による高い認識性能と信頼性、事故低減効果の高い予防安全装備をパッケージ化しました。そして、これまで取り組んできた安全システムの連携を進化させることで、レクサスは、皆さまに高い安心感をご提供します。

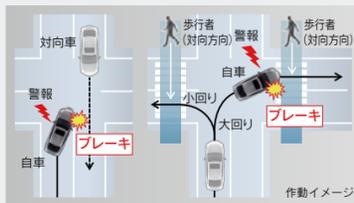
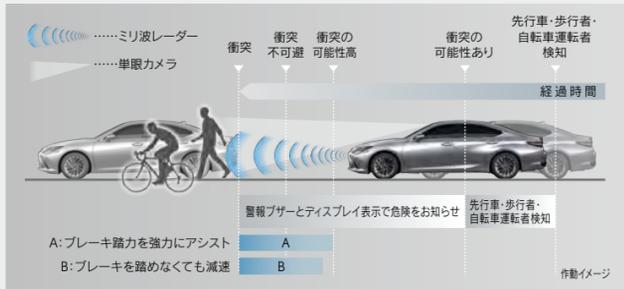
ADVANCED SAFETY [Lexus Safety System +]

ドライバーに安心感をもたらす、予防安全システムをパッケージ

交差点と緊急時でのサポートが進化した

プリクラッシュセーフティ(歩行者[昼夜]・自転車運転者[昼]) 検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー＋単眼カメラ方式)

前方の車両や歩行者(昼夜)、自転車運転者(昼)をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。警報ブザーとマルチインフォメーションディスプレイ表示で衝突の可能性を知らせ、ブレーキを踏めた場合はプリクラッシュブレーキアシスト。ブレーキを踏めなかった場合はプリクラッシュブレーキを作動させ、衝突回避または被害軽減をサポートします。プリクラッシュブレーキは歩行者や自転車運転者に対しては自車が約10～80km/hの速度域で作動し、たとえば、歩行者との速度差が約40km/hの場合には、衝突回避または被害軽減をサポートします。また、車両に対しては自車が約10km/h以上で作動。たとえば、停止車両に対し自車の速度が約50km/hの場合は、衝突回避または被害軽減をサポートします。なお、対向車に対しては減速して衝突時の速度低減をサポートします。



交差点右左折支援
交差点右折時に直進してくる対向車および右左折時に対向方向から横断してくる歩行者をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。ブザーと表示で衝突の可能性を知らせ、その後プリクラッシュブレーキを作動。衝突回避または被害軽減をサポートします(自転車運転者は検知しません)。



緊急時操舵支援
歩行者、自転車運転者、車両と衝突する可能性が高く、自車線内に回避するための十分なスペースがあるとシステムが判断した場合で、ドライバーの回避操舵があったとき、操舵支援を行い、車両安定性確保と車線逸脱抑制に寄与します。

※回避するための十分なスペースがない、また、回避先物があるとシステムが判断した場合には作動しません。

低速時加速抑制

低速時の自車の直前にいる歩行者、自転車運転者、車両をミリ波レーダーと単眼カメラで認識。前方に対象物がある状態で、停車または徐行状態からアクセルペダルが必要以上に強く踏み込まれた場合には、エンジン出力を抑制または弱いブレーキをかけることで加速を抑制し、衝突回避または被害軽減をサポートします。

※本機能はパーキングサポートブレーキ(静止物)の対象物である壁などに対しては作動しないシステムで、パーキングサポートブレーキ(静止物)の代替機能となるシステムではありません。

※プリクラッシュブレーキは、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態、歩行者や自転車運転者の状態等によっては、作動しない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。数値は社内測定値。

車線をトレースして運転支援する

レーントレーシングアシスト[LTA]

高速道路や自動車専用道路を走行中、レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)の作動時に、車線維持に必要なステアリング操作支援を行うことでドライバーの運転負荷を軽減します。また、レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)を使用していない場合でも、車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能は作動可能です。

車線維持支援機能

緩やかなカーブでの支援に加え、滑らかにふらつき少なくレーン中央をキープする走行が可能です。カメラ認識技術の向上により、レーントレース性能が大幅に向上しました。白(黄)線が検出困難な場合でも先行車に追従する支援を行います。また、曲がりきれず車線を逸脱する可能性がある場合には、表示による注意喚起を行い、ドライバーのステアリング操作を促します。さらには、カメラによる車線認識性能の向上により、カーブの大きさに合わせてあらかじめ減速、カーブ走行時の横Gをつねに一定にすることで、安定した快適な走行を実現するとともに、より半径の小さなカーブでも途切れない運転支援を可能にしました。

車線逸脱警報機能 / 車線逸脱抑制機能

車線から逸脱するおそれがある場合に、カラーヘッドアップディスプレイ、マルチインフォメーションディスプレイの表示、およびステアリングの振動または警報ブザーにより警告するとともに、車線からの逸脱を避けるためのステアリング操作を支援します。さらに、車線の判断については、白線だけでなくアスファルトと草・土・縁石などの境界から逸脱すると判定した場合も支援します。

※カラーヘッドアップディスプレイはES300h "version L" に標準装備。ES300h "F SPORT"、ES300hにメーカーオプション。※安全性の観点から、ドライバーはステアリングを持ち続ける必要があります。手を放すと、車線逸脱抑制機能と車線維持支援機能が停止します。

※レーントレーシングアシスト[LTA]は自動で運転する装置でも前方への注意を軽減する装置でもないので、運転者はつねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ステアリング操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。

※車線逸脱警報機能(車線維持支援機能中は除く)、車線逸脱抑制機能は約50km/h以上で作動します。

※例えば次のような条件下では、車線維持支援機能、車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能が正常に作動しない場合があります。使用しないでください。●車線と見間違えるような路側構造物がある時(ガードレール、反射ポールなど) ●分合流付近を走行中 ●急カーブを走行中 ●雨・雪・霧などで車線が見えにくい時 など

※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされず車線維持支援機能、車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能の作動をキャンセルする場合があります。●車線を見失った時 ●ドライバーの追加運転操作を検知した時(ステアリング、ブレーキ、アクセルの操作など) など

※車線逸脱警報機能、車線逸脱抑制機能は走路の境界がはっきり見えない場合、または直線的ではない場合には正常に作動しない場合があります。

※故意に車線から逸脱して走行するなど、システムの作動を確認する行為はたいへん危険です。絶対におやめください。

※車線維持支援機能が先行車に追従する支援を行う場合、先行車が車線を右、または左に片寄って走行、または車線変更した時は、先行車の位置に合わせて自車も片寄って走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。先行車がふらついた時は、自車もふらついて走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。

車線内の停車と救命要請を自動で行う

ドライバー異常時対応システム

レーントレーシングアシスト[LTA]制御中にドライバーの無操作状態が継続している場合、音と表示と緩減速による警告でドライバーに操作を促すほか、ハザードとホーンで車外に異常を報知しながら自車線内に減速停車し、自損・加害事故の回避・事故被害低減を支援します。停車後は、ドア解錠やヘルプネット[®]自動接続による救命要請も行い、早期のドライバー救命・救護に寄与します。

*ヘルプネット[®]はG-Linkに含まれるサービスです。G-Linkのご利用には別途契約が必要となります。詳しくは44ページをご覧ください。

※ドライバー異常時対応システムは自動車専用道路(一部を除く)を約50km/h以上で走行している場合に作動します。体調異常を直接検知できるわけではないため、システムが正常な運転操作と判定した場合は作動しません。



2019年度JNCAP*1予防安全性能評価*2「ASV++賞」を受賞。

ESの高い予防安全性能が評価されました。

*1.自動車アセスメント(JNCAP: Japan New Car Assessment Program):国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構が、安全な自動車の普及を促進する目的で、1995年度より公表している自動車安全情報。
*2. 予防安全性能評価:先進技術を搭載した自動車の安全性能について、安全性を点数に応じASV+～ASV++との3段階で評価。

車間距離を保ちながら追従走行する

レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)

ミリ波レーダーと単眼カメラを使って先行車を認識し、車速に応じた車間距離を保つことで追従走行を支援します。先行車が停止したときは、自車も停止して停止状態を保持。先行車が発進したときは、ドライバーの操作によって発進し、追従走行を再開します。高速道路の渋滞走行時など停止発進を繰り返すシーンで、ドライバーの運転負荷を大幅に軽減します。ミリ波レーダーの検知角度広角化と、単眼カメラによる広い前方認識範囲により、特に前方車両に対する割り込み検知にすぐれた認識性能を確保しています。また、約80km/h以上で、ウインカー操作をした際は、遅い先行車がいっても、追い越しに向け徐々に加速を開始し、スムーズな走行を支援します。さらに、レーダークルーズコントロールで走行中、システムが必要と判断した場合、ステアリングの切り始めで速度抑制を開始するカーブ速度抑制機能を装備しています。

※本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

遠方にいる歩行者をいち早く照らす

ブレードスキャン[®] アダプティブハイビームシステム[AHS]

夜間の視認性を飛躍的に高めるブレードスキャン[®]AHS。高速回転するブレードミラーにLEDの光を反射させ、その残像効果によって滑らかに前方を照らします。また、ブレードミラーの回転に合わせてLEDの点灯・消灯を制御することで、照射エリアと遮光エリアをきめ細かく調整。遠方の歩行者や路肩、標識などをより早く認知できる配光を実現します。さらに、先行車や対向車に直接ハイビームを当てないように部分的に遮光するなど、夜間走行時のストレスを軽減し、安全運転に寄与します。

version L[®] F SPORT ES300h *

※自車速度約15km/h以上で作動します。

*三眼フルLEDヘッドランプ(ロー・ハイビーム)&LEDターンシグナルランプ(フロント)、ブレードスキャン[®]アダプティブハイビームシステム[AHS]、ヘッドランプクリーナー、マルチウェザーライトは同時装着となります。



※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



Lexus Safety System +を安全にお使いいただく上での留意事項説明

Lexus Safety System +は予防安全パッケージです。ご契約に際し、Lexus Safety System +、およびその各システムを安全にお使いいただくための留意事項についてご説明いたします。

ご使用になる際のお客さまへのお願い

- 運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、つねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。
- 各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 車両姿勢が変化する架装・改造や、各システムのカメラ・センサーを遮るような架装・改造を行うと、各システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ご使用の前には、あらかじめ取扱説明書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。



機能説明
情報はこちら

標準装備 メーカーオプション

※装備類の詳細い設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

道路標識を表示し告知も行う

ロードサインアシスト[RSA]

単眼カメラで認識した「最高速度」「はみ出し通行禁止」「車両進入禁止」「一時停止」の道路標識を、マルチインフォメーションディスプレイに表示します。カラーヘッドアップディスプレイには、「最高速度」もしくは「車両進入禁止(告知時)」の道路標識を表示。道路標識の見落としを減らし、安全運転を促します。また、単眼カメラによって認識された「最高速度」「はみ出し通行禁止」「車両進入禁止」の道路標識に対し、違反動作を行っているときシステムが判断した場合、表示の反転や点滅でドライバーに告知する機能もあります。



最高速度標識表示

※カスタマイズにより、ブザー音(「最高速度」「車両進入禁止」)/ステアリング振動(「はみ出し通行禁止」)を作動させることや、告知無しにすることも可能です。※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。※カラーヘッドアップディスプレイはES300h "version L" に標準装備。ES300h "F SPORT"、ES300hにメーカーオプション。

先行車の発進を知らせる

(付帯機能)先行車発進告知機能[TMN]

先行車の動きをミリ波レーダーと単眼カメラで検出し、自車が先行車に続いて停止後、先行車が発進し一定距離を走行してもなお自車が停止し続けている場合に、カラーヘッドアップディスプレイとマルチインフォメーションディスプレイ表示、およびブザーで先行車の発進をお知らせします。



※シフトポジションが「P」「R」以外でブレーキペダルを踏んで停車している時に作動します。シフトポジションが「N」の時、またはレーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)機能で自車が停止した場合、さらにシフトポジションが「D」の時にブレーキホールドを使用した場合は、ブレーキペダルを踏んでいなくても作動します。※先行車が約4m以上進んでも自車が止まったままだとシステムが判断した場合に作動します。なお、機能のON/OFFおよび通知タイミングの変更が可能です。詳しくはレクサス販売店におたずねください。※カラーヘッドアップディスプレイはES300h "version L" に標準装備。ES300h "F SPORT"、ES300hにメーカーオプション。

ロー・ハイビームを自動で切り替える

オートマチックハイビーム[AHB]

夜間走行時に、周囲の明かりの状況によりハイビームで走行可能と判断した場合、ロービームをハイビームに自動的に切り替え、前方視界確保を支援します。

ES300h

※自車速度約30km/h以上で作動します。

※ロー・ハイビームの切り替え自動制御には状況により限界があります。運転時はつねに周囲の状況に注意し、必要に応じて手動で切り替えるなど、安全運転を心がけてください。

OTHER SAFETY

安心感につながる先進安全テクノロジー

広い視認エリアと夜間や雨天時のクリアな視界を確保する

デジタルアウターミラー

室内に設置した5インチのディスプレイに車両左右後方の映像を表示。右左折時や後退時の死角を低減し、視線移動を抑えることで、安全運転を支援します。高性能アウターカメラが夜間でもクリアな映像を実現。鏡面ミラーよりも小型のため、斜め前方の見通しも確保しています。



ディスプレイ(運転席側)



アウターカメラ

"version L" "F SPORT" *

*パノラミックビューモニター(床下透過表示機能付)を選択した場合に装着可能となります。



■夜間や明暗が混在するシーンでも、すぐれた視認性を確保

アウターカメラの性能を向上。夜間の暗い場所や明暗が混在する場所の視認性を確保するためにノイズ低減処理を施し、ノイズ感の少ないクリアな映像を実現。またLEDライトのちらつきによる煩わしさを低減しました。カメラに霜などが付着した時や曇りが発生した場合は、カメラヒーターを起動させることで除去できます。



悪天候時



後続車のヘッドランプ入射時



夜間時

■右左折時や後退時の表示エリアを自動で拡大

ウインカー操作やリバース操作に連動して、表示エリアを自動で拡大させることが可能です。スイッチ操作で一時的に表示エリアを拡大することもできます。

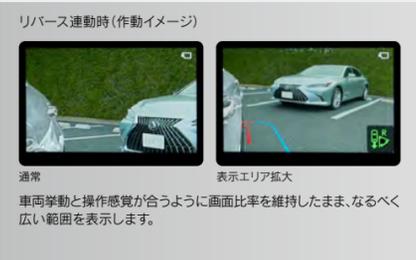


ウインカー連動時(作動イメージ)

通常

表示エリア拡大

通常のドアミラーでは見えないエリアを表示することで、後方確認をサポート。また、ドライバーが距離感を見誤らないように通常時の表示範囲を緑枠で表示します。



リバース連動時(作動イメージ)

通常

表示エリア拡大

車両挙動と操作感覚が合うように画面比率を維持したまま、なるべく広い範囲を表示します。



ON/MENUボタン

十字キー
(左右選択されていない状態を押すと表示エリア拡大表示)

電動格納ボタン

左右選択ボタン

ミラースイッチ(運転席ドア)

■デジタルアウターミラーの注意点

※走行中には、必ずミラーの表示範囲調整を安全な場所に停車して行い、走行中には絶対に行わないでください。調整を行っていないと、映像が正しい方向を表示していない場合があります。

※デジタルアウターミラーのリバース連動・ウインカー連動・スイッチ操作による表示エリア拡大時には、通常映像時とは映像に映る人物・車両のサイズが異なります。あらかじめ両者の映像の見え方を確認の上、ご使用ください。

※後続車のライトがちらついて見える、映像の色と実際の色が異なって見える、夜間に後続車のヘッドライトの周囲が白くぼやけて見えるなどの現象が発生することがありますが、異常ではありません。

※体調、年齢などにより、ディスプレイに焦点が合うまで時間がかかる場合があります。焦点が合わせづらいと感じたときは、安全な場所に停車し、ディスプレイの明るさを調整するなどし、焦点が合うまで運転は控えてください。

※運転中は、目視による車両周辺の安全確認も行ってください。

※立体駐車場など明るく照らされた場所と暗い場所が混在する場所や、夜間に後方車両のヘッドライトが映された場合などに、周囲が暗く映る場合があります。

※カメラに水滴、雪、泥などの異物や汚れが付着していると、鮮明な映像を見ることができません。霧などはカメラヒーターを起動させ除去し、泥などの異物は大量の水で汚れを流した後、水で湿らせた柔らかい布でカメラレンズを拭いてください。



ESは「セーフティ・サポートカーS<ワイド>」です。

セーフティ・サポートカーS<ワイド>(サボカーS<ワイド>)は、政府が交通事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。衝突被害軽減ブレーキ[対歩行者・対車両]、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトなどの安全運転を支援する装置を搭載し、高齢者を含むすべてのドライバーの安全をサポートします。

■Lexus Safety System + /パーキングサポートブレーキ[PKSB]

映像で後方の安全確認をサポートする

デジタルインナーミラー

車両後方カメラの映像をワイドミラーのディスプレイに表示します。切替レバーを操作することで、鏡面ミラーモードからデジタルインナーミラーモードに切り替えることができます。後席の人やヘッドレストに遮られることなく、映像による後方の安全確認を可能としたほか、夜間の視認性確保、電動リヤウインドウサンシェード使用時の視界確保、後席乗員のプライバシー確保に寄与します。車両後方に設置したカメラ性能を向上。夜間の暗い場所や明暗が混在する場所の視認性を確保するためにノイズ低減処理を施し、ノイズ感の少ないクリアな映像を実現。またLEDライトのちらつきによる煩わしさを低減しました。

"version L" "F SPORT"

※初めての走行前や運転者が代わる場合には、必ずミラーの調整を安全な場所に停車して行い、走行中には絶対に行わないでください。調整を行わずに走行すると、映像が二重映りする場合があります。また、ムーンルーフからの外部光による反射でディスプレイが見えにくい場合にはシェードを開けてください。体調・年齢などにより、画面に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。また着雪や雨滴、汚れ等により映像が見えづらくなる場合があります。その場合には鏡面ミラーモードに切り替えてご使用ください。

※夜間など暗い場所では周辺を明るく見せるために映像が自動的に調整されることにより、特有のちらつきが発生する場合があります。

接触事故の低減に寄与する駐車支援システム

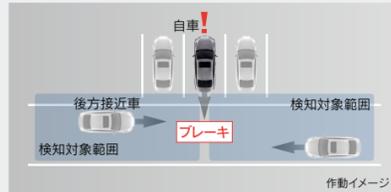
パーキングサポートブレーキ[PKSB]

パーキングサポートブレーキ(静止物)[PKSB]



低速走行時に壁などの静止物までの距離と危険度を、カラーヘッドアップディスプレイとマルチインフォメーションディスプレイ、およびフロント・リヤブザーなどでお知らせします。低速走行時に壁などの静止物と衝突する可能性が高いと判断した場合、衝突被害軽減ブレーキをかけます。

パーキングサポートブレーキ(後方接近車両)[PKSB]



後退して出庫する際、自車後側方から接近する車両の存在を、ドアミラーまたはデジタルアウターミラーディスプレイ、12.3インチディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plus、およびリヤブザーでお知らせします。自車後側方から接近する車両と衝突する可能性が高いと判断した場合、衝突被害軽減ブレーキをかけます。

"version L" "F SPORT" * ES300h *

全車

パーキングサポートブレーキ(後方歩行者)[PKSB]



後退して出庫する際、自車後方の歩行者の存在を、12.3インチディスプレイオーディオ(コネクティッドナビ対応) Plus、およびリヤブザーでお知らせします。自車後方の歩行者と衝突する可能性が高いと判断した場合、衝突被害軽減ブレーキをかけます。

"version L" "F SPORT" * ES300h *

*パノラミックビューモニター(床下透過表示機能付)と同時装着となります。

※安全装置の各機能の作動には、速度や対象物等の条件があります。また、各機能はドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候等により作動しない場合があります。詳しくは、取扱説明書、またはlexus.jpをご覧ください。また、レクサス販売店におたずねください。

※安全装置はドライバーの安全運転を支援するためのものです。機能を過信せず、安全運転を心がけてください。

標準装備

メーカーオプション

※装備類の詳細い設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

